

考動・躍動・感動

苦手教科と向き合う

「基礎を築こう！」

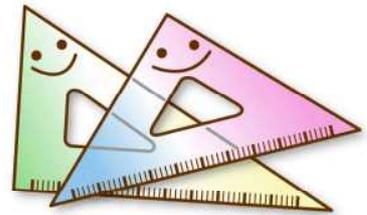
「単語・漢字を何度も書こう！」

「教科書・ノート・ワークを見直そう！」

「問題に慣れよう！」

「分からない問題は、先生や友だちに聞いて理解しよう！」

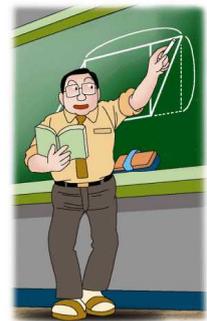
「授業を大切にしよう！」



裏面に載せた各教科の先生方のアドバイスから抜粋したものを上に少し載せました。それぞれの先生方からのアドバイスを読んでもと教科によって学習内容には違いがありますが、根本の部分では同じということが分かるはずですよ。

「この教科の勉強方法が分からない・・・。」

という声をまれに聞きます。しかし、それは分からないのではなく、『嫌いだから・苦手だから』という理由で逃げてしまっている人もいるのではないのでしょうか。これから学習を進めていく中で、得意教科をより伸ばしていくことも大切ですが、苦手教科に対してこつこつ取り組み、少しずつでも克服していくことも大切になってきます。テスト前だけでなく、日々の授業・日々の家庭学習から“自分自身の学習への取り組み方”を高めていきましょう。



【☆みんなのキラリ☆】

～「ありがとうございます」という言葉～

- 問題用紙・答案用紙を配布される時（A組学級通信でも紹介）
- 鉛筆や消しゴムなどを落として、拾ってもらった時
- 解答用紙を回収する時（回収してくれる人に対して）

テスト監督をしている時に、教室で聞いたみんなの「ありがとうございます(ありがとう)」という場面です。みんなにとっては、何気ない一言かもしれませんが、意識して使っていないと思います。しかし、その場に立ち会っていると、とても気持ちが良くなりました。以前に『「ありがとう」という言葉は魔法の言葉で、周りの人だけでなく、自分自身も幸せにしてくれる言葉』ということを知ったことがあります。これからもいつでもどこでも、「ありがとう」が聞ける温かい学年・学級を創っていきましょう。



2学期中間テストを振り返って

国語 加藤洋佑先生より

「基礎をきずく」からの出題も多くあり、基礎・基本を大切に勉強してきた生徒は大変良い成績をとれていました。国語こそ、問題演習を繰り返すことが必要な教科だと思います。問題の聞かれ方にはパターンがあり、答え方にもコツがあります。授業でも折に触れてお話していますが、まだなかなか慣れていないと感じていたらこれまでのテスト問題などを復習してみてください。これからも一時間ずつの授業を大切に、漢字や文法、読み取りの力をつけていってください。



社会 柘植麻実先生より

1学期のテストに比べ記述問題はよくできていたと思います。覚えることが多くて大変ですが、『中国→米→南部→雨が多い』など、関連づけて覚えていくと頭が整理されます。また、問題をよ〜く読むことです。落ち着いて最後まで読めば、うっかりミスも減りますよ。



数学 越野和芳先生より

今回のテストでは、式の計算を行ったり、方程式を解いたりすることを中心に出題しました。基本的な問題についてはしっかりとできていましたが、かっこの前のマイナスや分数の入った問題になると正答率が下がりました。これらの内容は中学2年、3年生の数学だけにとどまらず、高校、大学とこれからの数学の学習の基礎となる部分です。理解できていないところをしっかりと把握し、復習を徹底しましょう。

方程式の文章題については、問題から数量関係を正しく見つけることを苦手としている人が多いです。いきなり方程式をつくろうとせずに、線分図や表などをつかって自分なりに問題を整理してから考えるといいと思います。期末テストでも方程式は出題します。この機会にしっかりとテストの復習をしておきましょう。



理科 森川紗織先生より

今回のテストは、1学期の内容に比べ、応用力が必要なテストでした。ただ、「基礎から究める」や授業で扱った問題とほぼ同じ問題ができなかった人が多くいました。それについては、努力不足だったと思ってください。“難しいから”“やっても分からないから”とすぐに諦めては何も変わりません。解説をしっかりと読んだり、先生や友達に質問をしたり、何度も解き直したりするなど、理解しようと努力をしましょう。そんな姿が多く見られること、期待しています。



英語 長谷川月美先生より

英語学習に単語を覚えたり、文法を理解したりすることは不可欠です。テストに向けて単語を何度も書く努力はしましたか？ワークに取り組んで学習内容の確認をしましたか？今回のテストは自分で英文で表現する問題がありました。基礎ができていないと、表現することができません。

あまりよくできなかった人は授業で習ったらすぐに復習ノートで何度も単語や本文を書くなど、日頃からの積み重ねを大切にしてください。

